



## 第13回 2021年11月18日

### 会長挨拶

福島佳之 会長



皆さん、こんにちは。本日は久々のゲスト卓話の方をお呼びしております。日本銀行福島支店の支店長植田リサ様でございます。福島RC所属です。日銀の福島支店支店長をおつとめになっていますが、実を言うと私と同じ税理士の資格も取得してございまして、大学卒業後すぐ登録、後ほどコロナ禍の県内の経済界のことのお話しが聞けるかと思えます。9月一杯休会になってその前の、一時期コロナ禍が収まりつつある時に、税務調査が結構多く入るようになりました。税務署の異動は6月・7月で7月で新しく赴任された方々が入って来て、今まで実調率がコロナ禍の中だったので税務調査自体がゼロが2年間ぐらい続きましたから、明けた途端にいきなりどんどん入ってきたということで、私の顧問先も今2件ぐらい税務調査を抱えております。まだ決着はしておりません。税務署の担当課によると、通常ペースに戻ってガンガン調査をするという言い方をしましたので、多分ここにいらっしゃる方々の会社の中にも今入っている企業さんもあるのかなと思います。税金のお話をしますと、国内版のインボイス制度というのが導入されるということをご存知でしょうか。実際は令和5年10月1日からスタートするということですが、事業者登録は10月1日から既に始まっています。そして来年の4月1日からは電子帳簿保存法というの改正になって、我々税金を扱う者は勿論、皆様の会社様にも影響が多々出てくるのかなと思います。目まぐるしく変わるこの世の中、一生懸命走って行かないと追いつかないなと思います。

### 幹事報告

阿部充宏 幹事



本日も例会への出席、ありがとうございます。卓話をお楽しみ下さい。

### 親睦活動委員会報告

二瓶健一 委員長



郡山RC麻雀大会を11月23日(火)、集合は1時半となっておりますので、ご参加登録頂いた方は宜しくお願いします。

### ニコニコBOX委員会報告

阿部和博 委員



◎日銀福島支店植田リサ支店長様の卓話を楽しみにしていました。卓話、延期が続いて申し訳ありませんでした。

福島佳之君

◎日銀福島支店植田支店長、宜しくお願いします。楽しみにしております。

阿部充宏君

◎植田支店長、本日の卓話を楽しみにしております。

山口松之進君、前田泰彦君

### プログラム紹介

山口松之進 委員長



9月に一度予定をさせて頂きました日銀福島支店植田リサ支店長様の卓話ですが、本日ようやく迎えることができました。「日本経済と福島経済の現状と先行き」と題してお話を頂きます。宜しくお願い致します。

### ゲスト卓話

「日本経済と福島経済の  
現状と先行き」

日本銀行福島支店

支店長 植田リサ氏



私は1994年に日本銀行に入りまして、その後は金融機関のモニタリングをする仕事ですとか、銀行券(お札)を全国の支店にうまく配る仕事であるとか、銀行券の製造の仕事をしたりとか、この仕事に就く直前までは日銀の国会の担当をしております、日頃日銀の政策を国会議員の方にお話ししたり、総裁が国会に行くときの対応等々をしていました。

実は日本銀行は国の銀行でありまして、国庫金の出し入れを日本銀行が担当しています。皆様方の国税は最終的に日銀の窓口を通して国の管理に行くということになっています。ただこれが皆さん恐らく納付書で金融機関に現金で窓口でお支払いになっている方が殆どでして、申告自体はほぼ7割ぐらいイータックスで電子申告になっているんですが、どうしても納付のところがまだ紙で効率化が図れていないという問題があります。是非今日お聞き頂いた機会に、特に源泉徴収と国税の納付の

ところについてはイータックスからダイレクト納付を選択して頂いて、収納の効率化にご協力を頂ければと思います。日本経済の全体を見て行くときには、どうしても世界経済がどういう状況なのかということを整理しておく必要があります。世界経済全体は2020年コロナ禍で経済の伸び率が大きくマイナスに落ち込みました。その後、順調に経済は回復をしております、今年については21年世界全体で5.4%の伸び率ということで、急速な回復を見せているという点であります。ただ、日本の成長率はここまで高くない状況にありまして、大体IMFの見通しで2.4%ぐらいの伸び率になっております。では日本経済は今どういう状況なのかということ、日本の実質GDPの推移を見ながらお話していきますと、日本のGDPも2020年4～6月に大きく落ち込んだ後、その後は順調に回復をしております。丁度昨年の12月までのところは、Go Toトラベル等の効果もあって順調に戻ってきておりましたが、1～3月に少し落ち込んだ後、4～6月はちょっと戻りましたが、7～9月のGDP成長率はまたマイナスに落ち込んでいるということでもあります。これは偏に感染症の拡大の影響でありまして、オリンピックの前後、夏の間大幅に感染者数が増えましたので、その影響で大幅に消費が落ち込みました。その影響から7～9月についてはGDPが大幅に減少したということでもあります。経済のことをお話させて頂くときに、二つの側面からこの後ご紹介をして行きたいと思えます。一つは企業活動、特に生産の面、もう一方でGDPの半分を占める個人消費の動きが今後どうなるかについてお話をして行きたいと思えます。企業活動ですが、世界経済全体が非常に回復力が速い状況にありますので、実はコロナの前を上回るぐらいの貿易量になっていて、世界経済の需要自体は非常に強いということが申し上げられると思えます。ただ最後に落ちてくる要因は、二つの供給制約による影響という事になっています。需要自体は凄く強いわけですが、逆にその需要の強さから世界的に半導体不足が経済への影響を及ぼしています。半導体が

調達できないことによって、自動車・完成車を作ることができなくなっている、生産計画の大幅な減産が行われています。そのあおりを受けて部品や関連産業、もう一つの供給制約は、今年の夏は東南アジアで非常に大きな感染拡大がみられました。各地でロックダウン等が行われましたので、工場の稼働調整が大々的に東南アジアで行われたこともあって、世界的な部品の供給網が寸断されるという影響がありました。その二つの影響で今貿易量が少し足踏みしているというところですが、ただ救いなのが、情報関連のところだけは引き続き堅調に伸びているというところがあります。例えばスマホ、世界的にスマートフォンの需要はまだ強いので、日本のそうですがデジタル対応というのが世界中で起きていますので、例えばデータセンターを作るには非常にたくさんの電子部品、それからデジタル材が必要になってきますので、それが好調であるということです。また最後は本来半導体自身が不足しているということがありますので、日本からの半導体の輸出も非常に好調です。福島県内にも半導体関連の工場がありますけれども、お話を聞いているとフル稼働が続いている状況ですし、生産が好調ですので、製造業を中心に企業収益も非常に高水準で推移しています。先般上期の上場企業の決算が公表されましたが、33業種の中で26業種では黒字転化または増益という結果になっています。まだまだコロナの影響を受けやすい外食・対面が必要になってくるサービス・運輸といったところは厳しいですが、それ以外の産業については特に製造業を中心に好決算が続いているということは、先行きの経済を見ていく中でも良い方向での材料なんだろうと思います。以上のように企業活動特に材を扱う製造業の観点から行くと、日本経済は基調としては回復に向かっているということをはっきり申し上げられるんだと思います。

消費については材によって消費活動に大きな違いが見られていたということをご紹介します。2016年を100で示したものと、大きく変動したものととして耐久財というものがあります。これは白物家電や自動車だったりするわけですが、耐久消費財の消費動向を見て頂くと、直近を見ると大きな影響が出ているのは自動車です。自動車はこれまであまり落ち込まずに来ていたので、消費自体を下支えしていたわけですが、足下の新車登録台数というのが大きく落ち込んでいるのが分かります。福島県内の先月の新車登録台数も、例年の6~7割ぐらゐまで落ち込んでいます。このコロナ禍で本当に大きな影響を受けてきたのはサービス業です。具体的には外食・宿泊サービス・冠婚葬祭サービスです。一番厳しかったのは2020年5月頃。最初の緊急事態宣言があって、県内の観光施設・ホテルも全館休業するような状況でありましたので、ほぼお客さんがいない状況でした。それが昨年秋のGo Toで2019年ぐらゐまでに戻ってきたところでしたが、その後の第3~5波の影響が今年はずっと効いて来ているということで、長く影響が及んで非常に観光業は痛手を受けている状況です。郡山駅前の人出は、やっとまん延防止等重点措置が解除されたところで大きく人出が戻ってきていますので、これに併せて郡山駅前の外食も少しずつ回復していきんだらうと見込めると思っています。それが期待できるもう一つのデータとして、飲食店の情報サイトのページ閲覧数で見ると、検索数が大きく戻って来ていますので先行きの期待ができます。我々日本銀行は毎月こういった情報を企業にヒヤリングを行っていますが、最近の消費の特徴としてはこれまで我慢していた消費をやっと実際の消費にできるということで、リベンジ消費という消費したくてうずうずしている方の声ヒヤリングでも聞こえるようになって来ております。高額品またはブランド品・特選品といった物の売れ行きが好調であるというお話がありました。今、ウェディングドレスの受注が急増しているとい

うことでありまして、これまでずっと披露宴・結婚式を先送りしてきた動きが、やっとコロナ感染が少し落ち着いてきたことから、実際に式を挙げようというような動きも見られています。郡山に与える影響はどうかというのが私なりに整理してみました。郡山市の就業者のシェアが全国に比べてどんな特徴があるのかを整理しました。コロナで対面接触を避けられてしまうことによって、特にコロナの負の影響を受けた産業があります。福島に居ると郡山の駅前は大変羨ましい姿ですが、逆にコロナの影響を非常に大きく受けた業種が多かったんだらうと思います。その分、リベンジ消費が戻ってきますので、私は大きく景況感が郡山については早めに回復していくことが見込めるとしております。その中で更に郡山の魅力は何なんだらうと私なりに考えてみました。郡山の産業の強みを整理したデータですが、県内総生産に占める郡山市の比率というのが大体17%。つまり県内で生んでいる付加価値のうち、大体17%を郡山市の方が生んでいる。これは全市町村の中でトップです。これ以上にこのシェアが高いということは、その産業が県内において非常に強みがあるということになるわけですが、トップが専門科学技術業務支援サービスということで、研究開発・広告・リース・レンタル・事業所向けサービスといったビジネスを支援するための産業が非常に集積しているということが分かります。それ以外にも卸・小売り・金融・医療・情報通信・不動産ということで、改めて郡山というのはショートなんだなということを感じた次第です。本当に色々な産業が集まっていますので、ビジネスが行いやすい町であるということが申し上げますし、更に色々な業種の方が集まっているという意味では、今後多様な業種でコラボして産業を興していくことが可能なんだらうと期待が持てる町だなと思いました。新産業を興していくには様々な産業の協力が必要ですし、特に今再生可能エネルギーの利用とか、脱炭素に向けた動きとか、またはSDGsを想定した新しいビジネスの創業が期待されていますが、こういった新しい産業を興していくポテンシャルが非常に集まった町であるんだなと改めて思った次第です。

現在まだまだコロナの影響で、多くの企業の方が資金繰りや、または将来の経営活動に向けて不安を感じていらっしゃる方が多いというのが日本銀行の今の認識であります。そうした中で今金融界が皆さん取り組んで行こうとしているのは、経営者の方の良き相談相手に金融機関はなっていくということです。融資だけではなく、例えば先行きの経営計画を一緒に立ててみるとか、より有利な補助金がないか一緒に探してみるとか、更にSDGsへの対応について一緒に何かできることはないかといった、これまでとは違った金融サービスの動きが見えてきておりますので、是非金融機関の方と色々な相談をしながら、日本の金融をうまく使って頂きたいと思っております。

## 出席報告 矢部浩樹 副委員長

総員/98名 出席/53名 欠席/45名  
出席率/54.08% 前回修正率/100%  
他クラブ出席/2名



次回 第15回例会  
令和3年12月2日(木)  
ゲスト卓話

「東北アルフレッサ郡山  
物流センターについて」

東北アルフレッサ(株)  
経営企画部 経営企画グループ  
池田竜一氏

## (株)横山鋼業

代表取締役 横山 大

〒963-0724 郡山市田村町上行合字下川原 84-1  
☎ 944-9825 FAX 943-2457

## 東京海上日動火災保険(株)郡山支社

支社長 佐藤 文和

〒963-8570 郡山市長者 1-7-20  
☎ 934-8601 FAX 934-8602